



JASIリサーチメモ

R6-10号：2025年2月26日

中国におけるロケット軍建設

ーシリーズ⑥ー中部戦区の組織編成及び部隊所在地について

防衛戦略研究室 防衛事務官 千綿 るり子

一 項 目

1 趣 旨

2 ロケット軍中部戦区の概要

- (1) 第66基地の歴史的経緯
- (2) 中部戦区の特徴

3 第66基地の組織編成及び部隊所在地等

- | | | |
|-------------------|-------------------|-----------------------|
| ① 中国軍の組織編成図 | ② ロケット軍部隊の編成及び所在地 | ③ ロケット軍第66基地(96605部隊) |
| ④ 第661旅団(96761部隊) | ⑤ 第652旅団(96762部隊) | ⑥ 第653旅団(96763部隊) |
| ⑦ 第654旅団(96764部隊) | ⑧ 第655旅団(96765部隊) | ⑨ 第656旅団(96766部隊) |
| ⑩ 訓練連隊(96861部隊) | ⑪ 通信連隊(96862部隊) | ⑫ 作戦保障連隊(96863部隊) |
| ⑬ 総合保障連隊(96864部隊) | ⑭ 装検旅団(96036部隊) | |

4 評 価

1 趣 旨

本資料は、「中国におけるロケット軍建設」に関して、「シリーズ⑤北部戦区の組織編成及び部隊所在地について」に続き、中部戦区の組織編成及び部隊所在地についてまとめたものである。作成に際しては、公開情報(*1)により旅団レベルまではその所在地が確認できたが、大隊レベル以下の細部編成についてはその確認が難しいことから、米空軍の中国航空宇宙研究所(CASI)発表の「人民解放軍ロケット軍の組織」(*2)に従いまとめた。

2 ロケット軍中部戦区の概要

中国ロケット軍は中国全土に9か所の基地を有しており(参照:5頁)(*3)、この内、中部戦区(基本的に北京市、天津市、河北省、山西省、河南省、陝西省及び湖北省)には第66基地が所在しており、本資料ではこの66基地を取り上げる。

(1) 第66基地の歴史的経緯

ロケット軍第66基地の前身組織となる第54基地の指揮部は、1966年8月に従来の公安部隊学校をベースとして305工程指揮部(124部隊)として設立されており、1968年5月25日、正式に第54基地と改称されている(*4)。

その後、2015年末以降の軍改革の断行に伴い、第54基地から現在の第66基地へと改編されている。

(2) 中部戦区の特徴

中部戦区の特徴としては、①党中央の安全を守り、②首都地域の安定を維持し、③首都の統合防空作戦及び戦略的予備隊としての任務遂行という三大任務を担っていることを挙げられ、習近平主席も、「首都防衛は党及び国家の安全保障の大局に関わり、国家の安全に関わるものであり、その戦略的位置付けをしっかりと把握しなければならない」と説いている(*5)。

この習主席の言葉にもあるように、中部戦区は、その司令部が北京市にあり、同戦区空軍の司令部も北京市にあり、同戦区陸軍の司令部も、北京市に隣接した河北省首府の石家庄市にあり、首都防衛を担っていると言えよう。

他方でロケット軍に関して言えば、装備の主体が大陸間弾道ミサイルであることから、首都北京の防衛というよりも予備部隊としての役割を担っていると捉えられる。

3 第66基地の組織編成及び部隊所在地等

4頁以降の①から⑭に示すとおり。

*1:温約瑟「中国人民解放军基地及び施設」https://umap.openstreetmap.fr/en/map/by_77487#11/19.7751/110.7003; Decker Eveleth “People’s Liberation Army Rocket Force of Battle 2023” James Martin Center of Nonproliferation Studies Middle Institute of International Studies at Monterey, JULY 2023; 陳振国、杜建明「中共火箭军战术弹道导弹对我军事之威胁与因应对策(中国共産党ロケット軍戦術弾道ミサイルの台湾軍に対する脅威と対策)」『海軍學術隔月刊』第51巻第6期; 陳振国「浅析中共『火箭军』发展与运用(中国共産党『ロケット軍』の発展と運用に関する分析)」『海軍學術隔月刊』第55巻第1期等

*2:Ma Xiu “PLA ROCKET FORCE ORGANIZATION” China Aerospace Studies Institute, <https://airuniversity.af.edu/Portals/10/CASI/documents/Research/PLARF/2022-10-24%20PLARF%20Organization.pdf>(August 5, 2024)。以下、CASIレポートと略する。

*3:『環球時報』2015年9月1日。

*4:「永遠の『二砲』、中国人民解放军ロケット軍の編成に際して」『歴史資料網』2022年5月19日、<https://lishiziliao.com/zhanshi/34848.html>

*5:「河南省軍区政治委員、中部戦区は首都地域の安定維持等の三大任務を担当」『国防』(軍事科学院及び国家国防動員委員会総合弁公室、2017年第7期)

4 評 価

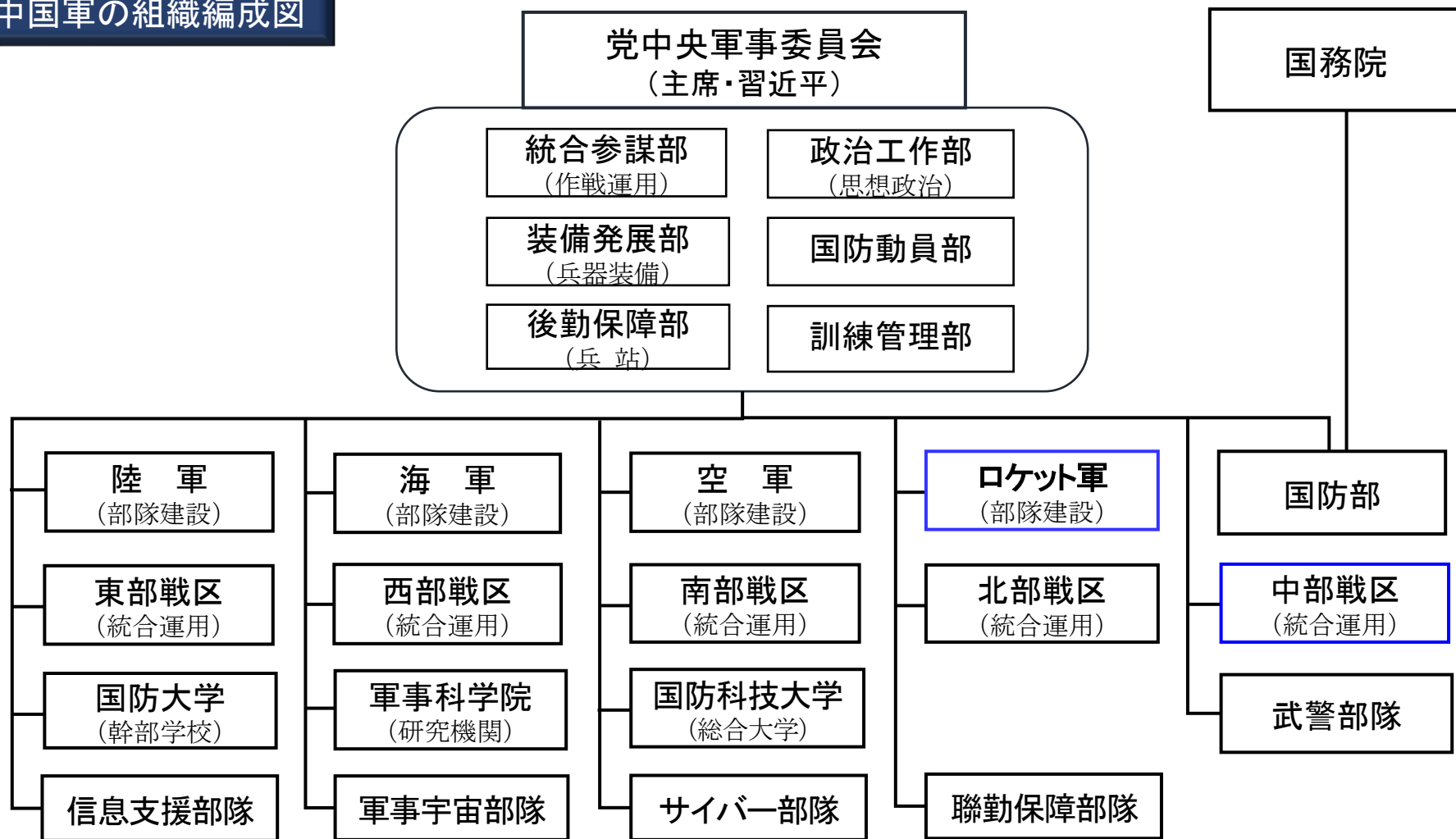
ロケット軍第66基地のミサイルに関して、単純にその射程からみれば、第666旅団の装備するDF-26は、日本、フィリピン、南シナ海を含めグアムまでが射程に入るだろう。そのほか、装備するミサイルが不明の第665旅団を除き、第661旅団、第662旅団、第663旅団及び第664旅団は全て大陸間弾道ミサイル(ICBM)であり、米国本土向けと考えられる。

この米国本土向けのミサイルについては、第66基地南部の第63基地、西部の第64基地及び北部の第65基地も、その多くがICBMを装備しており、中国の中央部にある第66基地は、前述(前頁2(2)中部戦区の特徴)の戦略的予備隊としての役割を担っていると考えられる。さらに、第66旅団も、第66基地東部の第61基地隷下の2個旅団(第611旅団・青陽、第617旅団・金華)がDF-26を装備していることを踏まえれば、同様に予備部隊としての役割を有する可能性が考えられる。

そのほか、第66基地も、南部戦区や西部戦区等と同様に隷下旅団の多くで(第662、664、665旅団、訓練連隊、装検連隊等)、施設が大規模に拡張されている状況が認められた。



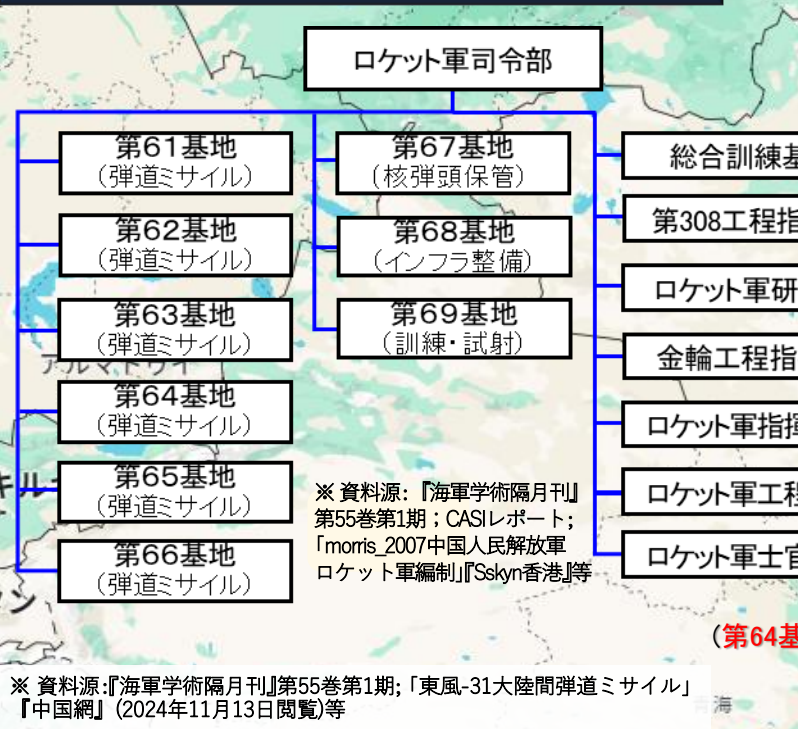
① 中国軍の組織編成図



中国人民解放軍全体の組織編成については、中央軍事委員会(主席:習近平)の下に、各軍種(陸・海・空・ロケット)、各戦区(東部・西部・南部・北部・中部)等が同じ並びで置かれ、それぞれが中央軍事委員会から直接指揮・指導を受ける体制がとられている。

この内、中国において核兵器やミサイルの運用を担当してきた第2砲兵は2015年末、第2砲兵からロケット軍へと改称され、陸・海・空軍と並ぶ軍種へ格上げされている。

② ロケット軍部隊の編成及び所在地



飛行距離	ミサイル	弾頭の種類
SRBM (短距離)	DF-11A(500km)	通常弾頭
	DF-15B(600km)	通常弾頭
MRBM (中距離)	DF-16(1,500km)	通常弾頭
	DF-17(2,500km)(極超音速滑空)	通常弾頭
	DF-21(3,100km)	核弾頭
IRBM	DF-26(4,000km)	核弾頭・通常弾頭
ICBM (大陸間)	DF-5A(13,000~15,000km)	核弾頭
	DF-31(8,000km)	核弾頭
	DF-31A(10,000km)	核弾頭
	DF-31AG(12,000~13000km)	核弾頭
	DF-41(12,000~15,000km)	核弾頭



ロケット軍部隊は、公開情報(『環球時報』2015年9月1日)によれば、中国全土の9か所の基地、学校等に兵力14万人を有しており、SRBM(通常弾頭)からICBM(核弾頭)まで各種ミサイルを運用しているとみられる。

③ ロケット軍第66基地(96606部隊)の編成

旧54基地(96251部隊)



河北省

第66基地
(96606部隊)

資料源:CASIレポート159頁

第661旅団
(96741部隊)

第662旅団
(96742部隊)

第663旅団
(96743部隊)

第664旅団
(96744部隊)

第665旅団
(96745部隊)

第666旅団
(96746部隊)

装検連隊
(96032部隊)

96606部隊
医院

訓練連隊
(96821部隊)

通信連隊
(96822部隊)

作戦保障連隊
(96823部隊)

総合保障連隊
(96824部隊)

軍犬訓練隊

北朝鮮

— 凡 例 —
★: 旅団司令部

※: Google Mapを基に筆者作成

韓国



中部戦区(北京市、天津市、河北省、山西省、河南省、陝西省、湖北省)には第66基地(96606部隊)が所在しており、この第66基地は、第661旅団から第666旅団までを有する。

また、96606部隊の司令部は、CASIによれば、河南省洛陽市澗西区麗春西路に所在することを確認できる。

Google Earthによれば、2002年9月8日時点で既に当該場所に部隊が所在していた状況が確認される。その後、2010年3月19日時点で既に、施設が本部を始め大幅に改築・増設された状況が認められる。

なお、その後、2024年1月12日時点まで顕著な変化は確認できない。

④ 第661旅団(96761部隊)

旧801旅団(96261部隊)

Google Earth(Maxar Technologies) 2022/12/3以降

Google Earth(Geo Eye)2010/12/5以前

Google Earth(Geo Eye Maxar Technologies)
2009/9/22以前

第661旅団司令部

本部

一部増設
(2010年12月)

2009年9月の状況

34° 30'59"N 110° 51'49"E
(河南省三門峽市靈宝市
黄河路六街坊80号院)

石家莊市
河北省

第661旅団

発射第1大隊

通信大隊

技術大隊

作戦保障大隊

総合保障大隊

— 凡 例 —

★：旅団司令部

※：Google Mapを基に筆者作成

韓国

資料源:CASIレポート160~161頁

第66基地司令部

661旅団
靈宝★
・DF-5B

洛陽★
664旅団
・DF-31AG

欒川★
662旅団
・DF-41

南陽★
663旅団
DF-31A

襄陽★
第664旅団隷下部隊
・DF-41

信陽★
666旅団
・DF-26

第661旅団(96761部隊)の司令部は、CASIによれば、河南省三門峽市靈宝市黄河路六街坊80号院に所在することを確認できる。

Google Earthによれば、2009年9月22日時点で既に当該場所に部隊が所在しており、2010年12月5日時点で既に増設が完了している状況が確認される。以降、顕著な変化は認められない。

CASIや温約瑟によれば、DF-5Bを装備しているとされる。

同旅団は、中国初の地対地ミサイル大隊(1959年7月編成)であり「東風第1旅団」とも称され、1963年10月25日に初のミサイルを発射している。伝統ある部隊であり、Google Earthからみても、2009年9月22日時点で既に当該場所に所在していることを確認できる。

⑤ 第662旅団(96762部隊)

旧804旅団(96263部隊)

Google Earth(CNES/Airbus) 2023/3/8以降
 33° 47'29"N 111° 35'23"E (河南省洛陽市樂川県城関鎮興西路448号)



第662旅団(96762部隊)の司令部は、公開情報(「96762部隊秘密保全・安全検査設備調達の入札募集結果公告」『河南省入札募集・調達総合網』2018年6月20日。http://hnzbcg.cn/zhaobiao/85012.html)から、河南省洛陽市樂川県城関鎮興華西路448号に所在することを確認できる。

Google Earthによれば、同旅団司令部の所在地は、2002年10月時点では更地であり施設そのものを確認できないが、2007年1月9日時点で既に建設中の状況、2009年11月2日時点で施設概成の状況が認められた。

また、2020年8月26日時点では、施設を更に大幅に拡張するために造成が行われている状況が確認され、2023年3月には概成している状況を確認できる。

CASIや温約瑟によれば、DF-41(2019年10月初披露)を装備しているとされ、施設の拡張・増設は、DF-41の装備に伴うものである可能性が考えられる。



資料源:CASIレポート162頁



Google Earth(CNES/Airbus) 2002/10/8以前

⑥ 第663旅団(96763部隊)

旧813旅団(96265部隊)

建設中(2010年11月)

33° 00'46"N 112° 25'04"E (河南省南陽市王村郷)



第663旅団(96763部隊)司令部は、CASIによれば、河南省南陽市王村郷に所在することを確認できる。

Google Earthによれば、2003年4月14日時点で、同旅団司令部の所在地に隣接した箇所は更地であるが、2010年11月8日時点で既に施設増設が行われている状況を確認できる。その後、2020年11月7日時点でグラウンド等が増設されている状況が認められた。

CASIや温約瑟によれば、DF-31A(2015年9月初披露)を装備しているとされる。

⑦ 第664旅団(96764部隊) 1/2

新編部隊

Google Earth(Airbus) 2024/1/12

第664旅団司令部

鉄道の線路が直結

本部

増設
(2022/12/5概成)

34° 35'49"N 112° 26'18"E (河南省洛陽市洛龍区の伊洛路と通済街交差点南100m)

Google Earth(Maxar Technologies/Airbus)
2022/12/5以前

拡張中(2022年12月)

第一高級中学

Google Earth
(Geo Eye/Maxar Technologies)
2002/9/8以前

更地(2002年9月)

第一高級中学



第664旅団(96764部隊)の司令部は、公開情報(「96764部隊安全検査設備調達入札結果公告」『河南省入札募集・調達総合網』2018年8月1日。<http://hnzbcg.cn/zhaobiao/91258.html>)から、河南省洛陽市洛龍区の伊洛路と通済街交差点南100mに所在することを確認できる。

Google Earthによれば、2002年9月8日時点で同旅団司令部に隣接する箇所は更地であったが、2010年12月30日時点で増設が認められ、2015年以降、施設が更に拡張され増設されている状況が確認された。さらに、2022年12月5日時点で大規模に拡張中の状況が認められ、2024年1月12日時点でもなお建設中とみられる。

CASIや温約瑟によれば、この司令部所在地にはDF-31AG(2017年7月初披露)を装備しているみられ、施設拡張はDF-31AGの装備に伴うものである可能性も考えられる。

※: Google Mapを基に筆者作成

— 凡 例 —
★: 旅団司令部

⑦ 第664旅団(96764部隊) 2/2

新編部隊

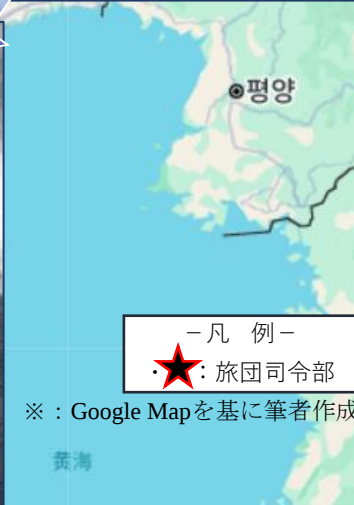
Google Earth(CNES/Airbus/Maxar Technologies) 2022/4/5以前

Google Earth(Maxar Technologies) 2019/3/31以前

Google Earth(Airbus) 2024/10/3以前



Google Earth(CNES/Airbus/Maxar Technologies) 2019/7/22以前



— 凡 例 —
★：旅団司令部

※：Google Mapを基に筆者作成



第664旅団(96764部隊)の隷下部隊は、溫約瑟によれば、湖北省襄陽市襄城区張家莊に所在する。

Google Earthによれば、2019年3月31日時点までほぼ更地であった場所において、2019年7月22日時点で造成がなされている状況が認められ、2022年4月5日時点で概成している状況が確認された。以降、顕著な変化は確認できない。

また、これらの施設の中には、建屋が交互に配置された特徴的なものが認められる。溫約瑟によればDF-41を装備しているとされ、これらの施設の新設は、DF-41の装備のためである可能性が考えられる。

⑧ 第665旅団(96765部隊)

新編部隊

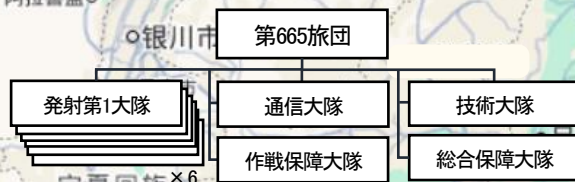
36° 15'28"N 113° 10'42"E (山西省長治市潞城区)

中部戦区陸軍訓練基地

本部

第665旅団司令部

Google Earth(Maxar Technologies) 2022/11/28以前



資料源:CASIポ-ト166頁

陝西省

山西省

長治
★665旅団

第66基地司令部

661旅団
★靈宝

★洛陽

664旅団
★

662旅団
★

663旅団
★

第664旅団隷下部隊

★襄陽

★信陽
666旅団

湖北省

DF-41

DF-26

Google Earth(Maxar Technologies) 2020/2/21以前

建設中(2020年2月)



更地(2018年10月)

Google Earth(CNES/Airbus) 2018/10/29以前

- 凡 例 -

★: 旅団司令部

※: Google Mapを基に筆者作成

第665旅団(96765部隊)の司令部は、CASIによれば、山西省長治市潞城区に所在することを確認できる。

Google Earthによれば、同旅団司令部は、2018年10月29日時点では更地であり施設そのものを確認できないが、2019年10月21日時点で既に建設が行われており、2020年2月21日時点でも建設中の状況が認められ、2022年11月28日時点で概成している状況が確認された。

装備しているミサイルは不明である。

⑨ 第666旅団(96766部隊)

旧827旅団(96267部隊)

Google Earth(Airbus) 2023/11/18

32° 09'58"N 114° 07'32"E
(河南省信陽市羊山新区和平社区)

第666旅団司令部

本部

概成(2016年3月)

Google Earth/(Maxar Technologies) 2016/3/19以前

Google Earth/(Maxar Technologies) 2009/8/25以前

造成(2009年8月)

更地(2005年4月)

Google Earth/(Maxar Technologies) 2005/4/6以前

資料源:CASIホ-ト167頁

第666旅団

発射第1大隊

通信大隊

総合保障大隊

作戦保障大隊

技術第1大隊

- 凡 例 -

★: 旅団司令部

※: Google Mapを基に筆者作成

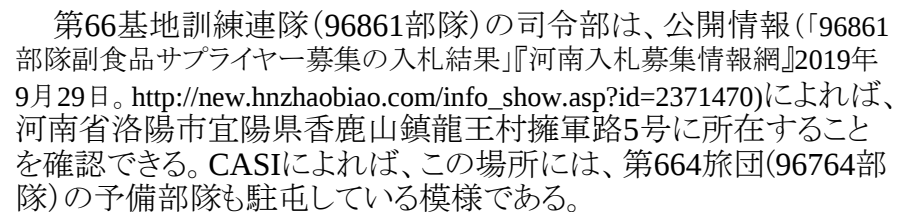


第666旅団(96766部隊)の司令部は、CASIや公開情報(「交易主体業績情報」『查看護業績』
http://218.60.149.226/PSPFrame/huiyuaninfomis2/backend/shigongyeji/ShiGongYeJi_Detail_Read?RowGuid=7057d9c2-02e1-43d9-bdb2-055b9bd2ff30)によれば、河南省信陽区羊山新区和平社区に所在することを確認できる。

Google Earthによれば、同司令部所在地は、2005年4月6日時点では更地であったが、2009年8月2日時点で造成がなされており、2016年3月19日時点で概成している状況が確認される。

CASIや温約瑟によれば、DF-26を装備しているとされ、施設の新設は、DF-26の装備に伴うものである可能性も考えられる。

旧96271部隊



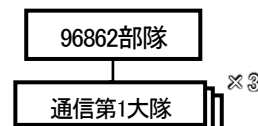
Google Earthによれば、2002年7月7日時点では、同旅団司令部に隣接した箇所は更地であったが、2011年6月7日時点で造成が認められ、以降、徐々に施設が増設・拡張していく状況が確認された。





⑪ 通信連隊(96862部隊)

旧96275部隊



資料源:CASIレポート169頁

⑫ 作戦保障連隊(96863部隊)

旧96276部隊



資料源:CASIレポート170頁



第66基地通信連隊(96862部隊)及び作戦保障連隊(96833部隊)の司令部は、CASIによれば、河南省信陽区羊山新区和平社区に所在することを確認できる。

⑬ 総合保障連隊(96864部隊)

旧96276部隊

34° 41'58"N 112° 31'39"E (河南省洛陽市瀘河区啓明東路666号)



Google Earth(Airbus) 2024/7/12



Google Earth(Geo Eye) 2010/3/19以前

2010年3月頃の状況



第66基地総合保障連隊(96864部隊)の司令部は、CASIによれば、河南省洛陽市瀘河区啓明東路666号に所在することを確認できる。

Google Earthによれば、2006年2月24日時点で既に当該場所に部隊が所在しており、2010年3月19日時点までは施設が一体となっていた状況が認められるが、2012年8月15日時点で敷地中央部に道路が整備され、施設が2分された状況が認められた。

【研究者紹介】(防衛戦略研究室員)

博士(安全保障)。2015年3月、拓殖大学国際協力学科安全保障専攻博士課程修了、博士論文「中国人民武装警察部隊に関する研究－武警部隊と解放軍の関係と将来像－」。専門は中国の準軍事組織(中国人民武装警察部隊、海警、海上民兵等)や中国の宇宙開発等。著書(共著)に2008年 茅原郁生「中国の軍事力－2020年の将来予測－」蒼蒼社

本リサーチメモにおける見解は、航空自衛隊幹部学校航空研究センターにおける研究の一環として発表する執筆者個人のものであり、防衛省又は航空自衛隊の見解を表すものではありません。